

(3)

2017年6月3日

宣教委員会

スローガン、アドバルーンではなく

米倉美佐男

40総会期の宣教委員会は教団教規に従つて委員会を運営していくことを第一回目の委員会で確認した。前回の宣教方策会議では、教団の現状を踏まえて「日本基督教団は伝道をどう進めて行くか」を主題として開催した。協力してもらつた発題者、講演者は宣教委員会の趣旨を汲み、良い発題、しかし、会議として十分な対話、講演をしてくれた。より強くするために、常設専門委員会、自主活動団体とも今以上に

香員会コラム

40総会期の宣教委員会は教団教規に従つて委員会を運営していくことを第一回目の委員会で確認した。前回の宣教方策会議では、教団の現状を踏まえて「日本基督教団は伝道をどう進めていくか」を主題として開催した。協力してもらつた発題者、講演者は宣教委員会の趣旨を汲み、良い発題、しかし、会議として十分な対話、講演をしてくれた。より強くするために、常設専門委員会、自主活動団体とも今以上に

（宣教委員長）



渡邊さゆり氏が自己紹介

3月28日、部落解放セントナー主催による「第30回神学校等人権教育懇談会」が教団會議室にて開催された。8つの神学校と関係団体から13名の参加があった。農村伝道神学校・大倉一郎氏による開会礼拝に続き、東谷誠二郎氏による開会式が行われた。部落解放セントナー運営委員長より現在もなお

8つの神学校と関係団体から13名の参加があった。農村伝道神学校・大倉一郎氏による開会礼拝に続き、東谷誠二郎氏による開会式が行われた。部落解放セントナー運営委員長より現在もなお

その報告を受け、各神学校代表の参加者から、それぞれの取り組みの紹介をしてもらつた。渡邊氏自身の被差別体験、パブリック神学校での取り組みの積み重ねと取り組みの積み重ね

遷、そして聖書を読む視点まで、丁寧に語られた。

その中で示されたことは、残念ながら教会は今なお差別的な存在であり続いている、といふことだ。「マンスプレイニング」男性的視点からの説明・押しつけが聖書の権威をもつて教会の中に居座

討論ができたとは言い難かった。密なる関係を築きたい。機構の再構築も視野に置く必要がある。伝統課題であった「牧會者」とその家族のための相談室」を設置するに祈りと恵を貸してもらいたい。

今期の方策会議は実りあるものとされるために祈りと恵を貸してもドバーラーをどんどん高く掲げて

いつまでも賛成状態を崩すことはできない。

教団教規の実質化を強く意識す

るのは、教団が主に喜ばれる教会となるために不可欠だからである。先ずは、信仰告白と教団教規によって教団とはどのような教会

のなかを明確にしていきたい。時は宗教改革500年である。

（斎藤成一報）

第30回神学校等人権教育懇談会

り続いている。多くの教会は、それが差別であり間違いであること

に気づくことができない

のである。神学校で学び、やがてフィールド

に遣わされていく働き

人たちが、この現実を

変えていく力を備えら

れるよう願う。各神学

校の人権教育への取り組みにもいつそ期待が寄せられる。

次回の人権教育懇談

会は1年後に予定され

ている。日本基督教団において、同性愛者が教師になることを巡つて議論が沸騰してから約20年が経過する。現在はLGBTを巡る社会認識も大きく変化してきた。この課題を今日的視点で捉え直すことを予定である。



石原英一氏（名瀬教会
任教師）
17年3月23日逝去、89歳。東京都生まれ。77年受允、80年受接、77年より名瀬教会（和光伝道所）を牧会。

事務局報

洛北	小岩	本庄	大宮	新津	柏崎	長岡	水戸	教師異動
小見川辞(代)繪鳩アツエ 就(代)森里信生	就(主)山田称子	就(主)川島隆一	就(主)正田國磨呂	就(主)玉置千鶴子	就(主)玉置千鶴子	就(主)奥村益良	辞(担)玉置千鶴子	辞(担)玉置千鶴子
就(主)北川善也	就(主)山田称子	就(主)川島隆一	就(主)正田國磨呂	就(主)玉置千鶴子	就(主)玉置千鶴子	就(主)奥村益良	就(主)玉置千鶴子	就(主)玉置千鶴子
就(代)森里信生	就(主)山田称子	就(主)川島隆一	就(主)正田國磨呂	就(主)玉置千鶴子	就(主)玉置千鶴子	就(主)奥村益良	就(主)玉置千鶴子	就(主)玉置千鶴子
タ一	横浜上倉田	下関	河内長野辞(主)井上良作	天下茶屋辞(主)石原保彦	横浜中田辞(主)笹野陽子	浜松就(兼担)田邊良三	山梨八代辞(代)西堀俊和	山梨八代辞(代)西堀俊和
福山東	大村	京都	太田八幡辞(主)指方周一	就(主)櫻川一幸	就(主)櫻川一幸	就(主)櫻川一幸	就(主)櫻川一幸	就(主)櫻川一幸
就(主)小片聰	就(主)羽柴禎	就(主)井上馨	就(主)飯野敏明	就(主)飯野敏明	就(主)飯野敏明	就(主)飯野敏明	就(主)飯野敏明	就(主)飯野敏明
就(主)未留英夫	就(主)未留英夫	就(主)未留英夫	就(主)川島隆一	就(主)川島隆一	就(主)川島隆一	就(主)川島隆一	就(主)川島隆一	就(主)川島隆一
泉高森	自由が丘辞(主)阿部祐治 就(主)阿部祐治	就(主)阿部祐治	就(主)阿部祐治	就(主)阿部祐治	就(主)阿部祐治	就(主)阿部祐治	就(主)阿部祐治	就(主)阿部祐治

東日本大震災救援募金(海外)
最終報告

国別・教派別	献金額(円)
アルゼンチン	165,000
インドネシア	187,000
オランダ	341,814
カナダ	4,917,650
イスライマ	19,091,924
タイ	286,437
ドイツ	94,105,637
ニュージーランド	287,300
ブルガリア	250,000
ベルギー	332,772
マレーシア	1,444,011
英國	14,942,434
韓國	30,109,279
オーストラリア	388,850
台灣	86,734,331
中國	28,781
米國	154,498,821
総合計	408,112,041



第4862号

(第三種郵便物認可)

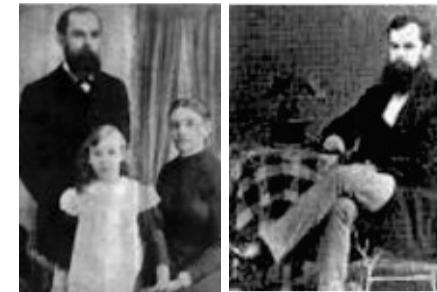
教 团 新 報

2017年6月3日

(4)

1875年4月15日に、エディンバラ医療宣教会のセオバルド・A・パークが、東京で日本語を学んだ後に新潟に着任した。パークは1848年にセイロン・コロンボで宣教師の子として生まれた。エディンバラ大学医学部を卒業したバプテストの外科医で、大学卒業と同時に結婚した直後の1874年に夫人と共に来日した。パークは医療宣教師のJ・C・ヘボンと相談した上で、五港の中でまだ宣教師がない「最も困難な土地」を選んだ。新潟に来る3か月前に出産直後の母子を失った中で新潟にやってきた。

パークは東京から同行した料理人の水谷惣五郎・哲子夫妻と日本語教師の陶山昶、通訳として横浜から派遣された雨森信成によって支援された。病院兼自宅は湊町三丁目に建てられたが、1年後に病院を拡張して本町に移転した。パーク病院では、朝9時から集まつた患者たちを前に説教がなされ、その後に朝10時から診察と治療が行なわれ、夕方には伝道会が開かれていた。最初は雨森が説教し、パークは診察と治療に努めた。夜の伝道会ではパークが説教し、雨森が通訳した。雨森が横浜に去った後にパークがS・R・ブラウンに懇願して押川方義が横浜から派遣された。押川はパークの協力者となり、パーク病院は医療と宣教の場ばかりではなく、パークが聖書を教え

セオバルド・A・パーク
イサベル夫人と娘アグネス

押川が神学を教えて、地元の伝道者を育成する神学塾も兼ねていた。

1877年には、遠方から患者が来るようになり、また中条、村上、新発田、長岡では蘭学医の要請を受けて、パークは出張医療宣教を始めた。船や人力車や徒歩で出かけ、日中には診察と治療を行い、夜には伝道会を行った。パークは佐渡島を一度、亀田、水原、葛塚、中条、新発田、沼垂、長岡を定期的に訪問するようになった。その頃、吉田亀太郎は石油探査事業のために中条に来ていたが、押川の伝道説教を聴いて、キリスト教に回心して伝道者となり、押川の協力者となった。

パークは1878年に28人の信者によって新潟で教会が組織されたことを報告している(アメリカン・ボード大阪総会報告書「日本のプロテスタント宣教史」1883年、北日本ミッション「第一次年次報告」1884年度)。パークも押川も超教派主義であ

り、いずれの教派にも属さない「新潟公会」がこの年に組織された。

1879年には中条に講義所が開設され、講義所は次第に増加した。同年にパークは函館の宣教師の娘イサベルと再婚した。

1880年に新潟大火が起り、パーク病院も焼け落ちてしまった。押川は吉田と共にこの機に、パークの父が牧会するロッテルダム・スコットランド人教会の支援を受けて「日本のスコットランドに」という使命で東北宣教に転じ、宮城県、福島県、山形県などに諸教会を創設し、東北学院と宮城学院を創立した。

1881年にパーク病院が西大畑の南浜通二番町に再建され、その翌年にF・J・ショウが看護婦として着任し、ロンドンの聖トマス病院でナイティングールから学んだ精神と看護方法を日本で最初に伝えた。

1883年にパークは妻の健康のた

めと休養のために、一時帰国することにした。その間のパーク病院を大和田清晴、虎太郎医師父子に任せ、医療宣教をアメリカン・ボードに委ねたが、パークは終末論の理解の神学問題で宣教会から来日が認められず、村医としてイギリスに留まった。アメリカン・ボードは医療宣教から新潟女学校・北越学館(敬和学園の精神的前身)を支援する教育宣教へと方針を転じ、その宣教方針の転換と相前後して、「新潟公会」は東中通教会と新潟教会に分かれて行った。

パークは1875年から1883年の8年半の間に、新潟県の下越地方と中越地方で、延べ4万人の人々に医療を施し、150~160人の重症患者に外科手術を施し、眼科の治療でも評判がよく、104人の信者に洗礼を授け、新潟県のプロテスタントの諸教会の背骨を形成した。

(Kyodan Newsletterより)

宣教師からの声 番外編

T・A・パーク 新潟の医療宣教師

山田 耕太

(敬和学園大学学長)

リフォユース教会中高生大会

- ◎日時 2017年8月9日(水)
～11日(金)
- ◎場所 恵みシャレー軽井沢
- ◎メイン説教者 塩谷直也氏(青山学院大学)
堀岡満喜子氏(北陸学院中学校・高等学校)
- ◎参加費 15,000円
(7月31日までに別紙参加

費専用の振り込み用紙で教会ごとにまとめてお振り込みください)

◎問い合わせ先 日本基督教団「リフォユース教会中高生大会」実行委員会
e-mail:refoyouth500@uccj.org
電話 03-3202-0541

教師継続教育「第8回夏期研修会」(主催・伝道推進室 後援・教師委員会)

- ◎日 時 2017年8月15日(火)～17日(木)
- ◎主 題 「教会における葬儀とは何か」
～トマスG.ロング著「歌いつす聖徒らと共にキリスト者の死と教会の葬儀」を土台として～
- ◎講 師 平野克己、神保望、大住雄一、朴憲郁、小泉健、奥田幸平(キリスト教専門葬儀社輝(かがやき)取締役会長)
- ◎チャプレン 北紀吉、菅原力、七條真明、栗原清、福島純雄、古旗誠
- ◎会 場 日本聖書神学校
- ◎参加費 5,000円(食事付／交通費と宿泊は各自自弁で手配)
- ◎申込先 教団事務局
(TEL 03-3202-0541 FAX 03-3207-3918)
- ◎申込締切 2017年8月7日(月)
- ◎対象者 教師検定規則第3条第6号による者(Cコース出身者および受験者)、准允後10年までの教師、他教派から転入し10年までの教師、その他準備会が承認した者
- *プログラム詳細は教団HP(uccj.org)をご覧ください。

まのあちゃんのその後

議長談話で、まのあちゃんのことを書いた。「イエス様をいたしましたから、もうクリスマスプレゼントはいらない」と言い、洗礼を希望していると母親から聞いた。その後、パックリ教会学校に来なくなつた。教会付属幼稚園の担任から、引越しをしたことを知らされた。新しい住まいのあちゃんは小学1年生、彼女が住所を書き、そして宛名は「えんちようせんせいへ」となっていた。郵便局員が「園長

夫」と、まのあちゃんの素朴な

つの顔は「手紙をもらつて嬉しい」と笑顔の顔が書いてあつた。家に悲しいことがあり、そして母親の入院、この悲しい中での時」が来ればと祈り、願つて

わたしは玄関で、まのあちゃんを迎えて、そして、応接室でお話しをしてお祈りをしている。院中の母親の話をしてくれる。「洗礼を受けたい」と言う、まのあちゃんの心に寄り添い、「そ随分彼女の顔が明るくなり、入

(教団総会議長 石橋秀雄)

浜松駅からバスに乗り、国道を北へ進むこと50分。家康街道は赤土の台地へ向かう。やがて田園風景の中にヘリポートを備えた総合病院が姿を表した。87年前、結核を病む貧しい青年のために病室を造つたことから出発した聖隸三方原病院である。病院の他の施設が建てられ、キリスト教主義理念に基づく福祉事業団が形成された。

浅井精一さんは聖隸三方原病院の高度救命救急センター勤務して24年目を迎えた。部長として自らドクターへりに搭乘し、救急医療の現場で働く。妻の八多美さんは介護老人保健施設「ベテルホーム」で勤務して自らドクターへりに勤務して24年目を迎えた。浅井精一さんは聖隸三方原病院の高度救命救急センター勤務して24年目を迎えた。浅井精一さんは聖隸三方原病院の高度救命救急センター勤務して24年目を迎えた。

夫婦は舞鶴市の病院で、力ナタ出身の研修指導医ドクターワイリスを通して主へと導かれた。医師として、患者は何度も経験してきた。夫婦は舞鶴市の病院で、力ナタ出身の研修指導医ドクターワイリスを通して主へと導かれた。医師として、患者は何度も経験してきた。夫婦は舞鶴市の病院で、力ナタ出身の研修指導医ドクターワイリスを通して主へと導かれた。医師として、患者は何度も経験してきた。

わたしは玄関で、まのあちゃんを迎えて、そして、応接室でお話しをしてお祈りをしている。院中の母親の話をしてくれる。「洗礼を受けたい」と言う、まのあちゃんの心に寄り添い、「そ

れどとき
淺井 精一さん
淺井八多美さん

キリストを運ぶ者に



共に1957年生まれの医師夫妻。
遠州栄光教員。